

警察庁によると、2025年の全国の

水難発生件数は1426件（前年比109件減）、水難者は1599人（同154人減）。このうち、死者742人、行方不明者18人で合計760人（同56人減）。その約半数が65歳以上でした。全

年齢層の死者・行方不明者の発生場所は海が半数近くである一方、中学生以下に限ると海と河川が約9割を占めています。また、水難者のうち負傷者は352人（同48人増）、無事救出が487人

水難の概況等について

（同146人減）となっています。

水難を未然に防ぐには、海や河川など、それぞれの自然環境の特徴を理解し、①危険箇所の把握（転落の恐れ・激流や深みの場所など）②的確な状況

判断（落雷・天候の変化・高波など）③ライフジャケット

ツトの活用④遊泳時の安全確保（危険区域などに立ち入らない）⑤保護者等の付き添い（幼児など目を離さない）などに気をつけましょう。

防犯一口メモ